

議 会 だ よ り



中学生に向けて走ります
(神岡小学校運動会・6年リレー)

9月定例会	2
24年度決算	3
Q&A	4・5
4町の主な意見・賛否	6
議員定数等特別委員会報告	7・8
討論	9・10
一般質問	11～15
市民の声・編集後記	16

9月定例会

消防救急無線の

デジタル化など

六億八千万円の一般会計補正を承認

九月定例会が、九月九日から十月一日まで開催され、一般会計補正予算や条例改正など原案どおり可決しました。議案の内訳は、補正予算関係八件、昨年度の決算認定十五件、条例関係三件、その他六件。又、(株)季古里の前年度決算報告など三件を承認しました。

補正予算の主なもの

- 宮川振興事務所の用地取得 九百三十七万円
- 神岡振興事務所の耐震補強設計を実施 二百十万円
- 市役所庁舎電話設備改修事業 百二十七万円
- マイマイガの卵駆除費 三百万円
- 宇宙学校・ひだ事業 八万円
- 男女共同参画向上への講演会 百四十万円
- 移住促進住宅改修補助事業増加に伴い 百五十一万円
- 三世代同居世帯等支援補助増加に伴い 三百二万円
- 指定管理施設運営改善事業 二千百万円



割石温泉と紅葉

- 旧神岡鉄道安全対策調査事業 七百万円
- 子ども・子育て支援新制度事業 二百七十九万円
- 割石温泉施設改修事業 五百万円
- 河合町保健センター指定管理事業 百万円
- 宮川町保健センター地下タスク改修 百四十万円
- リサイクルセンター建設事業 四百万円
- 農業先進地視察事業 五十万円
- 環境保全型農業直接支払交付金事業 百三十八万円
- こだわりの農業応援事業増加に伴い 四百九十四万円
- 吉城コンポ施設整備補助事業 一千八百四十一万円
- 木質燃料ストーブ購入補助事業 百万円
- プレミアム商品券を発行 三百百万円
- 古民具市場船津解体撤去費 九百二十万円

- ふるさと景観保全地区補助種蔵 十八万円
- かわいスキー場整備圧雪車修繕 八百七十万円
- 戦略的広告宣伝事業 三百万円
- 市道第六伏方線道路改良予備設計 三百万円
- 消防救急デジタル無線整備事業 四億七千二百万円
- 太江地内の消火栓移設事業 八十万円
- 宮川町スクールバス施設改修事業 五十万円
- 神岡中学校整備事業 八十万円
- 社会体育施設整備事業(坂巻・桜ヶ丘) 百万円
- 市道切雲線道路災害復旧 五百万円
- 診療所施設整備事業 二百五十八万円



運用中の古川消防署指令操作卓

- 公共下水道事業基金積立金 一千六百三十万円
- 簡易水道配水管支障移設(河合町) 四百二十万円
- 配水管支障移設工事(古川町太江) 二百四十万円

条例の制定と一部改正

- 延滞金の割合等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例
- ・地方税法の改正により、市税条例の延滞金の割合等が見直されたことに伴うもの
- 飛騨市子ども・子育て会議条例
- ・平成24年8月の子ども子育て支援法の交付に伴うもの
- 飛騨市老人福祉センター割石温泉条例の一部を改正する条例
- ・老人以外の一般使用者の範囲が不明瞭であるため、その範囲を明確化するため

人事案件の承認

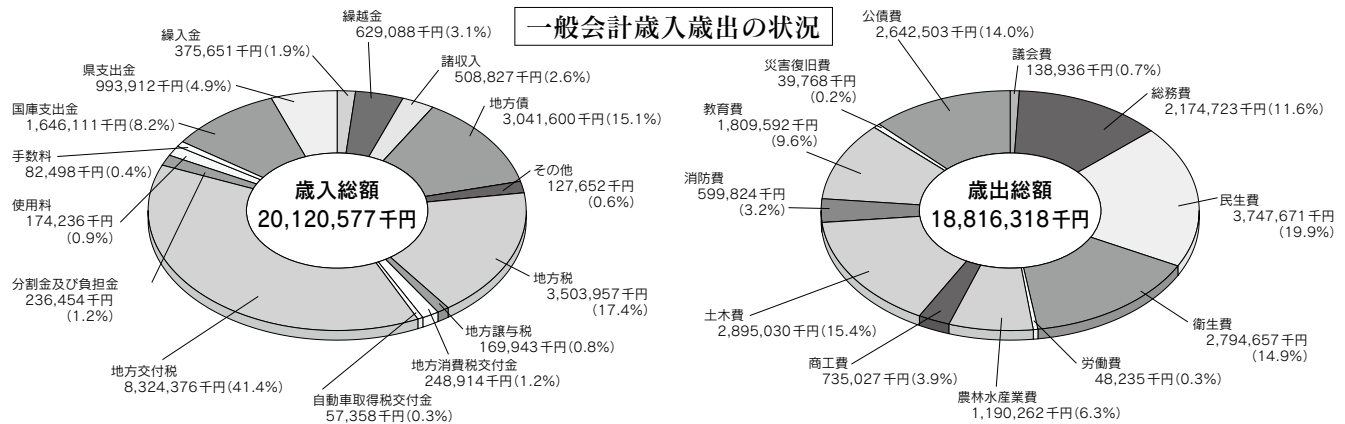
- 人権擁護委員候補者の推薦
- 河合町 田口理子
- 宮川町 荒木美鈴



平成24年度決算を認定

一般会計決算額 歳入総額 201億2,057万7千円 歳出総額 188億1,631万8千円
特別会計合計決算額 歳入総額 85億4,135万1千円 歳出総額 82億1,873万8千円

一般会計歳入歳出の状況



一般会計決算の主な事業

- 公式観光サイト更新事業 一千五百四十一万円
- さくら保育園整備事業 四億二千二百二十七万円
- 特定不妊治療費助成事業 四百四十五万円
- ごみ焼却施設整備事業 十三億八千九百五十二万円
- 団体営農業農村整備事業 五千八百八十万円
- 県単農業農村整備事業 四千九百三万円
- 公共林道整備事業 九千八百八十三万円
- 将来道路網構想研究会業務 四百二十万円
- 市単道路新設改良事業(十一件) 四千三百三十一万円
- 社会資本整備総合交付金事業(道路関係一四件) 一億七千三百五十一万円
- 道整備交付金事業(九件) 一億一千百七十四万円
- 橋梁長寿命化事業(八件) 一億一千百七十万円
- 杉崎公園グラウンド整備・照明設備新設 一億三千百五十一万円
- 神岡町ふれあいセンター 四億四千五百三十七万円

特別会計・企業会計の決算

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険特別会計(事業勘定)	30億2,642万円	28億5,819万円
国民健康保険特別会計(直診勘定)	1億9,927万円	1億9,379万円
後期高齢者医療特別会計	3億4,744万円	3億4,588万円
介護保険特別会計(保険勘定)	28億5,141万円	27億5,758万円
介護保険特別会計(事業勘定)	3,576万円	3,474万円
簡易水道事業特別会計	2億1,320万円	2億1,059万円
公共下水道事業特別会計	10億1,980万円	9億8,841万円
特定環境保全公共下水道事業特別会計	1億6,836万円	1億6,635万円
農村下水道事業特別会計	3億2,044万円	3億1,535万円
個別排水処理施設事業特別会計	2,317万円	2,208万円
下水道汚泥処理事業特別会計	1億5,491万円	1億5,491万円
駐車場事業特別会計	1,015万円	832万円
情報施設特別会計	1億2,845万円	1億2,028万円
給食費特別会計	4,258万円	4,226万円
計	85億4,135万円	82億1,874万円
企業会計名	歳入	歳出
水道事業(収益的収支)	3億1,103万円	2億124万円
水道事業(資本的収支)	2,213万円	1億7,318万円
国民健康保険病院事業(収益的収支)	15億4,665万円	15億9,907万円
国民健康保険病院事業(資本的収支)	4,722万円	2億2,851万円
計	19億2,702万円	22億200万円

- 旭保育園耐震・改修 一億一千六百八十一万円
- 住宅リフォーム補助金 二億五千六百十万円
- 古川西小バスロータリー 一千八百五十万円
- 宮川小学校体育館建設 三億九千五百十万円
- 古川中学校グラウンド拡張 五千三百八十六万円
- 神岡中学校グラウンド整備 一千六百五十九万円
- 国民体育大会費 一億三千五百五十七万円

財政健全化判断比率の状況及び、その他決算の状況

- 実質公債費比率 13・9%
- 将来負担比率 49・6%
- 経常収支比率 83・9%
- 市債残高(全会計) 三百八十八億七千九百三万円
- 基金現在高 百二十億三千四百五十万円

・市債は微減し、基金は増加しており、財政の弾力性を示す状況はやや安定している状況にあるが、地方交付税や市債、国・県補助金などの依存財源に依る体質であることに代わりはなく、今後も必要な事業・身近な事業への安定的な費用確保を図るために、市税や地方交付税の動向を注視し、更に健全な行財政運営を図ることが求められる。

二十四年度

決算特別委員会 Q&A

総務部

Q 財政力指数と市税が落ち込んだ理由と今後の見通しは。

A 市税が1億2千万円余減少したことにより、財政力指数が下がった。今後の見通しは、固定資産税が土地価格の下落により減少する見込みであり厳しい見込み。

Q 裁判訴訟の費用はいくらか。

A 宮川ニコイの土地が32万4千円、戸市の山林が171万2千円、旧起し太鼓会館が83万3千円である。

Q 消火栓のないところの対策は。

A 消火栓や防火水槽の整備或いは水利を考えて防火に備える。

市民福祉部

Q 子育て支援交付金の1558万3千円はどういうものに使われているか。

A 乳児家庭全戸訪問、一時預かり事業、地域子育て支援拠点事業、ファミリーサポー

トセンター事業等を使用している。

Q 増島保育園の指定管理料9263万円の中身はどういうものか。

A 国基準の措置費で未満児や年少児、年齢に応じた単価により、人数を掛けた金額及び市単独の加配保育士の人件費等を管理料として、支出している。

Q 飛騨地域は脳梗塞など脳血管障害が多いと聞くがその指導はどうか。

A 高血圧者に対し個別指導を中心に行っている。



保健師による個別指導の様子

教育委員会

Q 全国学力テストの結果、

飛騨市の場合はどうか。

A 全国平均である。

Q スクールカウンセラーは、何名か。時間給はいくらか。

A 6名依頼している。時間当たり5千円である。

Q 清流国体の波及効果は。

A 宿泊者が増加して経済効果はあった。市民のおもてなしに感激された方の反響に期待したい。

企画商工観光部

Q 観光サイトのリニューアルが行われた。アクセス数との集客数アップの連動はあるのか。

A アクセス数の増加、ページ滞在時間の増加。スマホでの現地での情報収集が増加している。

Q 田舎暮らし、空き家紹介事業の成果は。

A 名古屋2回、東京1回開催。数名の参加者があった。

Q 飛騨市の情報ケーブルからの電波障害はあるのか。

A 幹線は光ケーブルで漏れない。同軸ケーブルも被覆が厚いので漏れない。

環境水道部

Q 可燃ごみ手数料。予算と比べて結果はどうか。

A 可燃ごみ手数料100万円増。分別の徹底を推進していく。

Q 資源ごみ売却収入1200万円。単価がいいのか。

A 単価見積もりの入札で高くなっている。資源ごみの盗難はない。

Q 水道事業全般で石綿管使用があるが、取替えの計画は。

A 配管図から調査して入れ替えをしていく計画。

Q 水道料金を高い方に統一したが、値下げすることは考えないのか。

A 会計を統合するときに再検討する。

農林部

Q 歳入の農林水産手数料が予算より4割少ないが原因は。

A 家畜の人工授精が減少した。

Q 青年就農給付金。品種や実績、成果は。

A 5名に給付。新規就農から5年間。4名はトマト、1名は露地野菜。

Q 間伐材利用のベンチの希望者への配布は十分か。

A 飛騨市産の間伐材使用。緑の祭り参加校に配布した。

Q 吉城コンボへの機械の貸与から売り払い。単価の算定は。

A 平成11年取得。これまで無償貸与。購入価格約466万円。3社から見積を取り、売却価格を決定した。

基盤整備部

Q 丹生川ダムが完成。豪雨の影響はどうか。

A 完成後の調査は行われていないが、効果があったと思われる。

Q 克雪住宅補助事業。全件補助できたのか。

A 99件申請があり、全て補助できている。

Q 除雪予算が補正で7000万円あった。適正な額か。

A 1回の除雪出動で1000万円かかる。7回分として算定した。



稼働中のロータリー除雪車

二十五年度補正予算 予算特別委員会 Q&A

総務部

Q マイマイガ300万円の委託料の内容は。

A グランド、学校、保育園など市有施設の卵塊の除去を高所作業車の使用も必要であり業者に委託するもの。

消防本部

Q 消防救急デジタル無線4億7千2百万円は、高額であるがその理由は。

A 消防デジタル無線と、平成28年までに防災行政無線（移動系）を整備することが条件となっている。

市民福祉部

Q 「子ども・子育て会議」の設置にかかるアンケートの対象と範囲は。

A 0歳から小学4年生の親を対象に約1500人全員にアンケートを実施する。

教育委員会

Q 埋蔵文化財発掘の補正理由は。

A 個人住宅の建築により、急遽補正するものである。

病院管理室

Q 看護師の募集は何か。基本給はいくらか。

A 3名募集する。初任給は、月額18万500円、20年勤務で約30万円である。

環境水道部

Q クリーンセンターの燃料代の増加分は、高騰によるものか。

A 燃料の使用量の増加分。前は1炉運転。現在は2炉運転による影響。

Q リサイクルセンターが一極集中する。中継点の検討はどうか。



敷設される下水道マンホール

A 一般廃棄物収集業者と相談して検討を行う。

Q 下水道事業の進捗率は。

A 24年度末で91・37%の普及率。古川は太江のみ。神岡は市街地が終盤。29年度までに完了したい。

Q 下水道事業、寺林・梨ヶ根地区の進捗は。

A 寺林地区は国道の登坂車線工事との調整を図りながら進める計画。

農林部

Q 有機農業の取組み2件あるが、方向性は。

A 本人が直接農政局に申請。市も全面的に協力している。

Q こだわり農業と有機農業の違いは。

A 有機農業は国庫補助事業。こだわり農業は、飛騨市単独の補助事業。

Q 農業先進地視察。重点は何か。

A 農業支援センターの先進地、ほうれん草のハウス水耕栽培、とも補償制度、耕作放棄地対策や農地バンクの視察。

Q 補助は原則2分の1以内となっているが、3分の2とか80%超えるものもある。どうなっているのか。

A 内容を審査し、個々の補助金で制定している要綱に従って決定している。

企画商工観光部

Q 指定管理のコンサルタント。どういったところか。

A 企画提案のプロポーザル方式で行う。

Q 合併10周年記念のプレミアム商品券。具体的な時期と業種は。

A 実行委員会で具体的に決まる。商店や車等前回と同様を計画。

Q 商品券購入に上限などは。

A 1人10万円まで。モラルを持つてもらい購入していただきたい。

Q 3世代同居補助金。300万円増額だが内容は。

A 現在27件交付決定した。新築2件、リフォーム25件。追加は11件分を予定。

Q 発明の補助金。具体的な内容は。

A 古川町で寒冷地における浴室の改良。断熱効果、対流効果。

Q JAXA宇宙学校ひだ、対象者は。

A 小4から中3までの生徒と保護者。200名

Q 旧神岡鉄道安全対策事業700万円。今後の予定は。

A 市として現時点で安全化の判断はできない。調査結果を見て安全が確認できれば河川占有も含め検討する。



旧神岡鉄道 第一高原川橋

基盤整備部

Q 県営土地改良団体連合会とはどんな組織か。

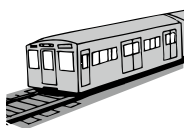
A 土地改良区、市町村が会員。土地改良事業に関する支援・調査研究等。

Q 飛騨地鶏への道路新設調査。事業予定は。

A 国道41号からの取り付け、220m、幅員5m、車道4m。

Q 消雪ノズル交換、どこに分か。

A 市道井上線のノズル36個を交換する。



区長会との意見交換会 四地区の主な意見を紹介します

古川町区長会

- ◎産婦人科がないので、せめて助産婦さんによる相談窓口を設けてはどうか。相談窓口は経験豊かな退職された助産師さんをお願いしてはどうか。
- ◎どこも後継者不足で困っている。若い人が働ける場所の確保が必要である。
- ◎出合いサポートや結婚相談の支援を市、議会、区長会が三位一体で活動してはどうか。

神岡町自治会連合会

- ◎神岡、上宝地区にとって市民病院はなくてはならない施設であるので、医師の確保に万全を期して欲しい。
- ◎予防医療をはじめとする各種施策の充実を図って欲しい。
- ◎合併10周年記念事業は、一過性で終わることなく、市民の意見を聞いて20周年、30周年へと繋がるものにし

てほしい。

- ◎来年は高校生の就職希望者が多い。地元企業に採用してもらえよう施策を行ってほしい。



神岡町自治会連合会と語る会

河合町区長会

- ◎廃屋は、危険である上、景観上も悪いので何とかならないか。
- ◎避難場所の耐震化が進んでいない。また、災害備蓄品には子供用のミルク、高齢者用品、生理用品を備えてほしい。
- ◎重要な生活道路である360号の整備促進と主要

宮川町区長会

- ◎地方道神岡河合線の保峠の改良を要望する。
- ◎市振興事務所の職員が少なくなっている。災害等緊急時の体制整備を考慮されたい。

- ◎360号と471号の集落間の路肩は、地元で除草を行ってきたが、高齢化や人口減少で難しくなってきた。路肩の除草は道路管理者の方で行ってほしい。
- ◎国道、県道、市道沿いに枯損樹が多くみられるので、早急に対応してほしい。
- ◎振興事務所の権限強化をお願いしているがどうなっているか。



宮川町区長会と語る会

9月定例会の提出議案等における各議員の賛否一覧

※これ以外の案件等は全会一致で可決等されています。

議案名等	議員名	前川 文博	中嶋 国則	田中 清安	洞口 和彦	野村 勝憲	後藤 和正	福田 武彦	菅沼 明彦	内海 良郎	森下 真次	高原 邦子	谷口充希子	天木 幸男	葛谷 寛徳	山下 博文	池田 寛一	籠山恵美子
議案第101号 飛騨市子ども・子育て会議条例について	原案可決	15:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
認定第1号 平成24年度飛騨市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案可決	14:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
認定第2号 平成24年度飛騨市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案可決	15:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
認定第4号 平成24年度飛騨市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案可決	15:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
請願第4号 消費税増税の見送りを求める意見書に関する市議会請願	原案否決	1:15	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
意見第3号 地方税財源の充実確保に関する意見書	原案可決	15:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※○は賛成、×は反対

※議長は裁決に加わりません。但し可否同数の場合は議長裁決となります。

中間報告

議員定数等特別委員会

議員の定数を見直す方向へ

設置までの経過

平成23年第6回飛騨市議会
定例会（平成23年12月15日）

において、発議第4号飛騨市議員定数に関する決議「合併10年を経過した平成26年度中には、議員定数を見直すこと

経過概要

年月日	事項	主な内容
25年3月21日	特別委員会設置	平成25年度第1回定例会
3月21日	第1回議員定数等特別委員会	委員長・副委員長の互選、資料請求
4月15日	第2回議員定数等特別委員会	資料提出と請求、調査項目・方法について
4月19日	追加資料の配布	各委員において資料の分析及び考察
5月28日	第3回議員定数等特別委員会	資料の分析結果について、論議
6月14日	古川町区長会意見交換会	委員会の中間報告
7月11日	第4回議員定数等特別委員会	議員研修会 講師：内貴 滋 自治大学校客員教授
7月29日	第5回議員定数等特別委員会	視察調査・パブリックコメントについて
7月31日	神岡町地域代表者と語る会	委員会の中間報告
8月1日～8日	視察調査事前質問内容の検討	委員各自に検討・提出
8月9日	NOMA行政管理講座 「地方議員の定数・報酬等の考え方」	正副委員長参加 講師：廣瀬 和彦 明治大学政経学部講師
8月21日	河合町・宮川町区長会意見交換会	委員会の中間報告
8月22日	第6回議員定数等特別委員会	視察調査（下呂市・美濃市・山県市議会）
8月29日	第7回議員定数等特別委員会	論議、パブリックコメントについて
9月9日	全員協議会	議員定数等についての意見収集
9月17日	第8回議員定数等特別委員会	論議、広報について
9月19日	広報広聴特別委員会	議会だより掲載の依頼と内容説明
10月21日	第9回議員定数等特別委員会	論議、広報について

委員で視察調査

を決定し、平成24年2月の選挙の議員定数は17名とする。」という原案が賛成多数で可決されています。
この決議に基づき、平成25年第1回飛騨市議会定例会（平成25年3月21日）にて、委員定数9名で議員定数等について調査研究を行う「議員定数等特別委員会」を設置しました。この委員会は、本調査が終了するまで継続して設置し、議会閉会中も調査できるものです。

当特別委員会では、8月22日に当市に類似した下呂市議会・美濃市議会・山県市議会への視察を行い、議員定数制の経緯や議会の運営状況などについて調査しました。
3市とも県内各市や類似市議会の状況を参考とされ、表のように議員定数を削減されています。

各市委員会での主だった協議内容から定数削減の考え方としては、人口減少や行財政改革、少数精鋭での資質の向上及び積極的な議会活動、常任委員会の運営面での理由があげられています。また現状維持の考え方では、広い面積での住民の多様な意見・要求の

議員研修から

・その1

7月11日に自治大学校客員教授・帝京大学教授の内貴滋先生を迎えて、研修会を行いました。

定数に関しては、「最近の議会をめぐる動向」の中で地方自治法改正点や全国市区議会議員定数の概況、地方公共団体の職員数、地域民主主義と効率性の戦い、議会の機能と運営の考え方、本会議中心主義と委員会中心主義などについて講義を受けました。

論点として

①議員定数の上限撤廃により定数の少ない市町村議会にとり、定数削減力が続くなれば、議会の存亡にかかわってくる。

②議員定数は議会の機能・役割をどのように考えるかに帰着するが正に自治の問題。

③議員定数の評価は、定説があるわけではないと3点を挙げ、「少なければ少ないほど良い」では、民主主義そのものの大问题と呈されました。

視察調査先比較表

市名	合併年月日	議員定数			人口（25.3.1現在）	
		合併当初	改正後	現定数	総数	議員一人当り
下呂市	H16.3.1	26人	21人（H19）	16人	35,121	2,195
美濃市		18人	15人（H14）	13人	21,960	1,689
山県市	H15.4.1	42人	22人（H16）	14人	28,806	2,058
飛騨市	H16.2.1	26人	17人（H20）	17人	25,690	1,511

注：人口は岐阜県人口動態統計調査より

・その2

8月9日、正副委員長にてNHK名古屋放送センタービルで行われた一般社団法人日本経営協会行政管理講座に参加しました。明治大学政経学部講師の廣瀬和彦先生による「地方議員の定数・報酬等の考え方と議会改革」のテーマで、北は小樽市・札幌市、南

は久留米市からの54人の市議会議員（県議・事務局若干名含む）が1日講義を受けました。議員定数の基準に①常任委員会数方式②人口比例方式③住民自治協議会方式④議会費固定化方式があるが、常任委員会方式から考えた方が適当であると呈され、「常任委員会としては6人から12人という幅が出てくる。6人では委員長を除くと5人となり単に議論だけではなく住民の意見の反映を考えると少ないのではと思われる。一般的に7人か8人が適当な人数と思う。」と述べられました。



講義研修受講の様子

研修資料によると、人口5万人未満市での平均常任委員定数は7・08人であり、人口比例方式の議員1人当たり

の人口は平均19000人、1市当たりの平均議員定数は18・8人です。

議員の活動は

- ・定例会 …………… 4回82日間
- ・臨時会 …………… 2回2日間
- ・常任委員会 …………… 39回
- ・議会運営委員会 …………… 24回
- ・特別委員会 …………… 34回
- ・全員協議会 …………… 6回
- ・会派代表者会議 …………… 1回
- ・議員研修会交流会等 …………… 7回
- ・区長会等意見交換会 …………… 3回
- ・要望訪問 …………… 1回
- ・一般事務組合会議 …………… 3回
- ・地域各種会議 …………… 5回
- ・団体等県事業 …………… 11回
- ・成人式等市定例行事 …………… 15回
- ・起工式・竣工式等 …………… 12回
- ・各種団体行事・会議 …………… 63回

昨年一年間の活動状況を調査しました。300回以上の会議や会合がありました。これ以外にも定例会や委員会等には議論のために調査など事前準備が必要です。

また、昨年度から市民参加型の開かれた議会運営を目的とした「飛騨市議会基本条例」が施行されました。議員は市民の代表者として、市民と情報を共有し市民の意見を市政に反映させるために活動

しています。議会は二元代表制の一翼を担う議事機関です。市長やその他の執行機関の執行状況を監視及び評価し、議会自らが政策提言を行うとともに政策立案に努めています。

平成25年度から、政務活動費が復活しました。活動に応じて年額12万円を上限に支給されます。議員のスキルアップができるとともに、他自治体の議員との情報交換などを通じて、飛騨市の現状と課題について調査研究しています。

委員からのこんな発言

・今後、地方分権により地方公共団体への権限移譲がなされ議員の仕事も増大する。

・極端な減員は議会機能が低下し、様々な市民の意見や要望が反映できなくなる。

・23年度議会改革特別委員会の経緯を重視し減員は避けられない。

・常任委員会は、6人では委員長を除くと5人となり、多種多様な意見・要望を論議するには少なすぎる。

す。

近年は地方分権が進んでいます。国から県、県から市へと権限が移譲されていますが、その分の事務量や作業量が増加しています。それに伴い、議会としても民意の利害調整機能、議事機関としての政策形成機能、監視機能としての監視機能がますます強力に求められている現状もあります。

それらを踏まえ議員定数等特別委員会では、適正な議員定数を協議しています。

・常任委員会定数は8人が適当である

・常任委員会の最低委員数は7人と考えられる。

・中津川市議会では議員定数21人を確定するにあたり、常任委員会定数が7人による運営が適切とする理由があった。

・人口比例で考えると、19000人か20000人に議員1人が適当である。

・本会議での議長採決回避を考えると議員定数は偶数の方が良い。

近隣市町村比較表

市 名	議員定数	人 口	面積 (km ²)	森林以外面積	人口密度	職員数
高山市	24 人	91,466	2,177	171	41.9 人 / km ²	967 人
下呂市	16 人	35,121	851	68	41.0 人 / km ²	668 人
郡上市	18 人	43,144	1,031	105	41.7 人 / km ²	952 人
飛騨市	17 人	25,690	792	55	32.3 人 / km ²	459 人

注：人口は岐阜県人口動態統計調査より

意見を求めます

今後、飛騨市ホームページ上で議員定数の素案がまとまり次第、パブリックコメント（意見提案手続き）を実施します。

委員長 後藤 和正

討論

議案第101号

飛騨市子ども・子育て
会議条例について

反対討論

籠山 恵美子

この条例は、国の子ども・子育て支援法に基づきつくられるもの。委員会審査の中で説明を求めたが、何をやるかが十分でなく不透明である。構成する委員もいわゆる当て職が想定されており、その負担を考えてもたいへん問題である。

子ども・子育て支援法の新システムの財源は約1兆円必要とされるが、そのうちの7千億円を消費税で賄うという。まさに見切り発車的な条例制定で、とても許されるものではない。これで何の成果があるのか。この条例には反対である。

賛成討論

中嶋 国則

平成24年8月に成立した『子ども・子育て支援法』に

より、平成27年4月からの新

制度施行に向けた「飛騨市子ども・子育て支援事業計画」を定めなければならない。この計画の策定、実行にあたっては、行政だけでなく、子育ての当事者である市民、その関係者或いは事業者等地域社会全体がそれぞれの役割を果たしながら連携・協力して積極的に取り組んでいく必要がある。

市民から広く意見を聞くための「飛騨市子ども・子育て会議」は、市民が参画する極めて重要な会議の場であることを認め、賛成する。

認定第1号

平成24年度飛騨市一般会計歳入歳出決算
の認定について

反対討論

高原 邦子

記念事業を当初予算ではなく補正予算で出し、しっかりと計画されていないために反対した。その予算執行の成果を主要施策実績報告書にも載

せない上、ホールの半数に満たない観客数でも「盛会」と評価し、2時間の講演会に百六十万の税金を支出した。市が全て敗訴となった裁判を提訴し、その総括が「市長の裁量権の大きさを知った」である。高い授業料を支払ってまで知ることではない。リ

ーガルマインドを持ち育てることが肝要。公権力を有する市が安易に裁判を起こす現況は市民にとって恐怖の何ものでもない。故に決算に反対する。

籠山 恵美子

24年度には、多くの市民が継続を望んでいた住宅リフォーム助成制度が廃止された。これは大きな失政である。

財政の立て方も問題である。この1年で、市は財政調整基金に税金を11億円余も積み立て過去最高の48億円となった。この基金は標準財政規模の10%が適正とされており、飛騨市は12億円あれば十分なはず。年度間の過不足調整のための基金を、将来不安をおおって貯め込むのは賛成できない。その陰で市民要望がどれだけ切り捨てられたことだろう。これではとても市

民本位の市政とは言えない。よって反対する。

賛成討論

後藤 和正

厳しい財源の中で貯金をしながら、大型事業のクリーンセンター・神岡町ふれあいセンター・さくら保育園整備等、まさに「いつまでも安心して暮らせる」ための大規模事業が推進された。

さらに、社会福祉・教育環境の充実、農林商工分野における支援などソフト・ハード両面において評価できる。

また、市民総参加による国体は飛騨市の良さをアピールし成功した。明日への活力に繋がることであると認める。よって、平成24年度決算に賛成する。



認定第2号

平成24年度飛騨市国民健康保険特別会計歳入歳出
決算の認定について

反対討論

籠山 恵美子

この年、国民健康保険料が10%引き上げられた。国保は市民の命と健康を守るだいたな医療制度。財源が足りないなら、多くの自治体がやっているように一般会計からの繰り入れで必要な財源を確保すべきである。市はそれは法定外繰り入れだとして耳を貸さないが、法定外は「違法」という意味ではない。自治体が独自の判断でやることであり、市民を守るためには当然やるべきだ。医療費が上がったと言っては国保料を上げる、これを繰り返しているは、市民は安心して生活できない。

賛成討論

谷口 充希子

歳出である保険給付費（医療費）が対前年度で、約8800万円増加している。国保被保険者数は減少してい

るが医療費は増加の一端を辿っている。歳入では24年度より保険料が約一割値上げされているが対前年度の保険料収入は約4500万円の増加に過ぎず不足分は財政調整基金と繰越金で賄われている状況である。

このような現状の中で保険料の収納率は98%と高水準で県下の市の中では一番安い状況である。依然厳しい国保財政ではあるが、適切、的確な財政運営が行われていることを認め賛成する。

認定第4号

平成24年度飛騨市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

反対討論

籠山 恵美子

この年介護保険料も17%引き上げられた。反対理由は国保会計と同様である。

飛騨市は国保会計も介護保険会計も黒字決算である。つまりその年入った収入から支出を引いた結果が黒字なのに、市は前年度の黒字と今年度の黒字分を比較して「マイナスだ」と言っては不安をあ

おり、料金を引き上げる。こういうやりかたは、市民に温かい市政とは言えない。よって反対する。

賛成討論

谷口 充希子

3年ごとに見直される介護保険制度の初年度で保険料額が給付見込みにあわせ増額された。しかし徴収状況では例年並みの徴収率が確保されている。要介護認定者が増加したものの保険給付に対し保険料徴収額が不足することなく安定した保険財政運営がなされていると認められる。また、グループホーム開設事業者の決定や特別養護老人ホームの増床など介護基盤整備についても計画通り進捗している。在宅介護支援の充実や介護予防事業など一歩一歩着実に進んでいることを認め賛成する。



認定第4号

消費税増税の見送り
を求める意見書に
関する市議会請願

反対討論

田中 清安

消費税増税の見送りの請願の採決に反対する。国の一般会計予算は、約半分が国債の発行によって賄われている。借金が一兆円にも及ぼうとしている中であって、現在に責任のある我々が確実に財政の健全化策を実施するためにも消費税の増税は不可欠である。



賛成討論

籠山 恵美子

この請願の趣旨に賛同し、採決に賛成する。

私たち地方議員は何をすべきか。それは国の応援をすることではなく、地方の声、苦しみを国に届け、そして何と

してでも地方に国の手当を得る、そのために尽力することだ。

来年4月からの増税をなんとか見送ってほしいという切実な声は、市民のまっとうな要望である。この声をぜひ国に届けて意見すべきである。

意見第3号

地方税財源の充実確保に関する意見書

反対討論

籠山 恵美子

この意見書案にある地方税財源の確保はだいたいなことである。しかしそのための地方財源確保の手段として、消費税をあてにするのは問題。弱いものからは打ち出の小槌のように消費税でどんどん吸い上げる。一方で膨大な内部留保を抱える強い大企業や富裕層には何も言わない。

つまり、飛騨市民を消費税増税で苦しめておいて、その財源をうんと地方にくれというのではまさに虫のいい話である。私は内容の修正を求めたが拒否された。よって問題ありの意見書提出には賛成できない。

12月定例会の予定

議会の傍聴にお越しく下さい

12月 2日(月) 本会議(開会、提案説明)
9日(月) 本会議(一般質問1日目)
10日(火) 本会議(一般質問2日目)
11日(水) 本会議(一般質問3日目)

12日(木) 常任委員会
13日(金) 予算特別委員会
17日(火) 本会議(委員長報告、質疑、討論採決、閉会)

※日程は変更される場合があります。

一般質問

問 原油価格高騰から高齢者を守るため、ぬくもり灯油券の支給を

答 判断しなければならぬ時期が来れば支援を考える



山下 博文 議員

問 高齢者が生きがいをもてるには大胆な政策が

必要である。灯油価格が高騰しているが政府は未だ原油価格高騰の対策をとっていない。この冬、高齢者の生活を守るために、以前支給した「ぬくもり灯油券」を是非復活

問 レールマウンテンバイク安全性調査の具

答 点検計画・安全計画・予算計画を立案する

問 NPO法人が鉱山駅前から北部への延伸を強く望まれている。9月補

正で運行の可能性を検証する調査費が計上されており、前向きな対応と評

算の3点を計画。橋梁や

◆柏木企画商工観光部長
漆山駅から3キロのコースで点検・安全・予算の3点を計画。橋梁や

問 市民病院の医師対策について、医師確保の進捗と「守る会」の支援を

答 10月に富山大学附属病院から常勤医師を派遣

問 常勤医師3名と大変厳しい環境のなかで、努力されている皆さんに敬意を表する。医師確保のその後の進捗と、市民が「市民病院を守る会」を

立ち上げられたが、会場確保や資料作成等の支援は出来ないか。
◆川上病院管理室長
答 大学病院長は、飛騨市民病院への協力・支援は

されたい。

◆市長

答 ぬくもり灯油券は、平成19・20年度に原油価格が著しく急騰したことにより国・県の支援を受け、緊急措置として支給した。当時と比べ値上がり幅も低い。支給は、様々な状況を把握する中で必要な時期に検討する。

トンネルの危険箇所を抽出し点検方法や維持修繕について立案、橋の柵や転落防止ネットなどの安全計画の立案。点検、修繕に必要な予算の立案。



すっかり行っていくと述べられ、10月から派遣できるよう準備を進めているとのこと。守る会には、会場確保や会報発行・資料作成に伴う印刷等について支援していく。

問 高齢者福祉は前進しているか。目標を達成する目途はあるか

答 制度の動向を見極め、バランスよいサービス提供に取り組む



籠山恵美子 議員

問 ①高齢者地域支援のネットワークが実現できない要因と課題は何か。②施設入所は24時間体制で見守られるが、在宅で

は日中だけの介護サービスである。介護計画にある24時間体制の在宅介護支援の整備状況は。③和光園を特養とし、養護老人ホームは再構築すべきではないか。④在宅介護サービスが充実不可能なら、小規模特養施設を早急に整備すべき。

問 原発避難者へ農地や居住の提供で復興支援をする

答 復興に支援をきたす恐れあり。誘致活動はすべきでない

問 東日本大震災被災者は今10万4千人が仮設住宅住まいである。2015年には出なければならぬが、特に福島第一原発事故の被害者は自

災者の方々に飛騨市への移住を働きかけることをほしい具体化していただきたい。

宅再建もできず、また未就職、健康被害などで多くの人が苦しんでいる。飛騨市が今からでもできる被災者への支援は、飛騨の農地はじめ豊かな自然環境、そして安全な生活の提供であろう。被

市は何かにつけ人口減少を市民にアピールするが、解決する具体策を示さない限り市民を不安にさせるだけである。ならば、被災地者に農地や住宅を提供し、その結果、交流人口の増加あるいは定住促進につながれば意義あることではない

◆谷澤市民福祉部長

答 ①環境や緊迫度の違いはあるが地道に進めど体制づくりが困難。県が10月より短時間訪問介護の普及のため飛騨市をモデルに調査検討される。③将来の和光園像について検討している。④既存施設増床の可能性も含め整備について検討する。

だろうか。

ぜひ行政がイニシアチブをとり、市民と共同の誘致活動を具体化してほしい。

◆市長

答 被災地の人口流失は、その自治体の復興や運営に支障をきたす恐れがあり、飛騨市では被災地へ行って誘致活動を行うようなことはすべきでないと考えている。しかし、飛騨市での就農、就学、雇用、居住など被災者からの相談に対しては、協力して相談に当たらせていただく。

問 神岡中心部の雪対策について

答 平成26年度から調査・整備を行う



前川 文博 議員

問 ①市街地の雪対策は喫緊の課題である。消雪装置の拡大についての計画は。②流雪溝のグレーチングの蓋が高齢者に開

けられない状況がある。流雪溝自体の劣化が目立つ箇所もある。改良を繰り返したため水の流量が少ないなど、雪が流れない箇所もある。補修や改良の計画は。

◆川瀬基盤整備部長

答 ①過去の調査で高原川左岸地区に優勢な地下

問 災害時の情報通信手段の確保について

答 防災無線の戸別受信機を活用する

問 ①非常時にFMラジオは車中などで受診する事ができる。市内全域でFM放送が受信できるように設備を整備できないか。②災害時に市民及び旅行者への情報伝達手段

の現状と今後の予定は。

◆柏木企画商工観光部長

◆小倉総務部長

答 ①中継局建設は多額の設備投資が必要で困難である。ケーブルテレビにFM波を配信してい

るが屋内受信用。②防災行政無線放送が基本である。他に緊急速報メール配信システム・すぐメールシステム・ホームページの災害防犯情報欄の3つある。戸別受信機は乾電池で48時間受信可能。

問 特養20床増床に向けた現状は

答 市の条例により支援について

問 ①平成26年度に特養20床増床計画であるが、増床予定の社会福祉法人

への支援策は。

◆谷澤市民福祉部長

答 ①計画は、現施設の

水滞水層の可能性が高いことがわかった。平成26年度から社会資本整備総合交付金事業を活用し、地下水の調査及び路線の選定を行う。②現在、流雪溝の整備計画はないが、部分的な補修は地区と相談して進めている。また、大規模な改修については社会資本整備総合交付金事業の補助事業を検討していく。開閉式軽量化グレーチングも流雪溝の補修・改良に合わせて行う。

問 たくましく生きる力を育む学校教育の現状は

答 ハード・ソフトの両面から、学力向上と豊かな心の育成に努めている



洞口 和彦 議員

問 ①あいさつ運動について。地域が一体となった「あいさつ運動」の指導とは。②部活の在り方について。部活時の災害(ケガ等事故)状況と予防指針や指導方法は。③学校図書館について。漫画

本「はだしのゲン」の学校図書館への配置状況と校長会や会議での議論は。④全国学力テストについて。テストの飛騨市の児童、生徒の結果と学力プロジェクト事業の評価は。

◆山本教育長

答 ①神岡町連携型中高一貫教育事業で、中学生・高校生・PTA・教職員等による「あいさつ運動」を実施。広がりを目指す

るが屋内受信用。②防災行政無線放送が基本である。他に緊急速報メール配信システム・すぐメールシステム・ホームページの災害防犯情報欄の3つある。戸別受信機は乾電池で48時間受信可能。

問 鳥獣被害対策について

答 地域対策を重要とし重要市、被害防止に対する意識の高揚を図られるよう推進

問 鳥獣被害対策の遅れから被害が拡大している。早期に抜本的な対策を。①農業支援センターによる支援を。地域単位の恒久柵の設置での効果や欠陥は。②鳥獣被害対策実施隊の構成と活動効果は。罾について、捕獲数と今後の罾計画は。③飛

騾市有害鳥獣被害防止助成金を高山市並の集落や地域ぐるみで行う場合の4分の3にできないか。

◆藤井農林部長

答 ①モデル地域を設定し設置効果や管理方法の検証を実施。設置地区では獣の進入防止に効果があり、山林内設置のため

る。②本年度7月までの怪我や事故の報告件数は113件で、内、部活動は39件。より安全管理の徹底を図り、事故の未然防止に努める。③市内全小中学校の蔵書と利用度を調査したが、他の対応は行っていない。④小学校6年の国語Aは県も全国も平均を上回り、国語Bと算数A・Bは県平均並。中学校は、国語も数学もすべて全国平均を大きく上回った。結果を分析して、授業改善や家庭学習のあり方に生かすよう指示・指導した。

雪害もない。②農林部職員10名で構成し現地調査やアドバイスを実施。罾による捕獲は本年、熊22頭、猪64頭、猿5頭。エサの豊凶の影響もあり、罾自体に問題があるとは言えない。今後、設置技術等の向上を図る。③平成23年に個人のみから、上限200万円とする団体にまで補助範囲を広げた。極力国庫補助事業を活用しながら普及する。

問 観光に磨きをかけるイメージは

答 観光客と住民のいずれにも受け入れられる町づくりを



天木 幸男 議員

問 もてなす心を感じていただけるまちづくりが求められている。

そんな中、古川は瀬戸川を中心に自然石を活かしたまちづくりが基本になっているが、その観光立町の目玉となっている既存の石畳が取り外されつつある、どのように対処するのか。

問 レールマウンテンバイク施設を無償譲渡しては

答 調査し安全等が確認されれば貸し付ける

問 今まさに脚光を浴びているレールマウンテンバイクをより早く発展させるために、市の財産所有では、危険、安全、責任問題等決断に時間がかかる。この際NPOに無償譲渡し、より発展の余地を与えたらどうか。

◆市長

答 NPO法人から提案のあった「溪谷コース」

問 市有財産を税源の手助けに活かせないか

答 財源確保と財政負担の軽減に努める

問 市が所有する市有財産のうち普通財産は、財産価値を有利に運用するためにある。その面積は年々増加傾向にある。用途を整理し、有効な運用

◆小倉総務部長
答 売却や有償貸付によ

◆川瀬基盤整備部長

答 昨年度より電線類地

中化事業を進め、現時点では仮舗装を行い、観光シーズンを配慮しながら観光協会等と協議し、来年度には本舗装工事を行う。今後観光客と住民のいずれにも受け入れられるまちづくりを進めるため、関係者の意見を伺いながら整備を行う。

について、使用の可能性を探るべく調査費の補正予算を上程している。

その結果安全対策経費や維持管理経費がクリアされれば、市で施行し、NPOに貸し付けることになる。

る収益を得るばかりでなく、市民の雇用の場としての活用を考える。

今後調査を行い、財産台帳を再整備し、運用状況を検討する中で、処分可能財産、貸付など活用区分を行い財源確保と財政負担の軽減に努める。

問 空き家バンク制度の創設について

答 創設のいかに関わらず利活用を目指す



池田 寛一 議員

問 産業常任委員会では、空き家対策に取り組んでいる長野県東御市および、山梨県山梨市と甲州市を訪問し調査を行った。

ること、また、宅建協会と協定を結び連携して取り組むことで、効果を上げていることである。まずはその受け皿となる空き家バンク制度創設に向けて動き出してほしいと願い、次の事項について伺う。

①飛騨市に空き家バンク制度を創設する考えはあるか。

②創設する考えがあるとするれば、すでに空き家対

問 政権交代後の公共事業について

答 防災減災に対する要求が高まっており今後
も国県へ強く要望

問 ①市内トンネルや橋梁の安全対策は十分か。

②国道41号茂住地内雨量規制区間の改良計画は

③国道360号保木林地内改良工事の延伸は。

④主要地方道古川〜清見線の進捗状況と全線開通までの目途は。

⑤神岡〜河合線「谷〜荒

町」間の進捗状況は。

◆川瀬基盤整備部長

答 ①市管理のトンネル

は3か所あり定期的に保守点検を実施、橋梁は長寿命化修繕計画を策定し実施している。

②国において落石防護壁の設置、洞門の補修を進めている。③地区から

策に取り組んでいる民間企業や団体とはどのような連携を考えているか。

◆柏木企画商工観光部長

答 ①県下の事例をみると、登録物件の良し悪しに左右され契約に結びつかない自治体が多いのが現状のようである。今後引き続き宅建協会等とも相談し、空き家バンクの創設に向け共に連携して、優良な物件が集まり移住につながる事業とならないか検討を行いたい。

②空き家バンクの創設いかに関わらず連携し利活用についても情報交換を行なっていきたい。

の強い要望もあり、保木林から中沢上間の工事実施について県に対し要望する。

④平岩1号橋の下部工が今年度中に完成予定であり引き続き要望する。

⑤谷〜荒町間は、信包地区の改良工事が昨年度から事業を再開し、今年度は用地測量と用地買収が始まると伺っている。

問 審議会・協議会等々の整理合理化を

答 対処してあるので、整理等はしない



高原 邦子 議員

問 多面的な住民参加を保証するシステムになっていない。委員の選定が偏っていないか。行政の正当化機能に資するだけの面。活動実績が乏しいもの、設置の必要が低下している等々、問題が多

い審議会等、国も整理合理化を勧めているが①数は②選任方法③議事録の様式は統一されているのか④諸議会への市民の傍聴許可は⑤県内の他市町村で傍聴を認めている所は⑦問題・改善すべき点

◆市長

答 ①73件。②条文に定めがある者、任命権者が指定。③統一されていない

問 神岡の除雪ボランティアへの考えは

答 今後も全市的に活用していく

問 人口減少によるデメリット克服についての考えを問う。①自助・共助に限界がきているが、私道沿線の草刈は。②自然環境の悪化（耕作放棄地・害獣の出没）の中、行政が手を差し伸べる範囲をしっかりと示すべき。新たにまた協議会等々を作り市民の声を聞くのは、

もう十分であり5年が経った。市長のリーダーシップでビジョンを示しスピーディに問題を解決していく時期である。それほど人口減少に直面して問題なのであるが。③人口減少で伝統的な物がなくなり消えようとしている。後世にしっかりと残してほしいが。

い。④殆どが請求により公開する。その際は情報公開条例の手続による。

⑤委員会規則等の中には傍聴規定等が定められているものもあるが、殆どは定められていないが原則公開と考える。⑥美濃加茂市は設置される審議会ごとに傍聴規定を設けている。大垣市は情報公開条例の規定に基づき公開（傍聴）を認めている。⑦設置目的に照らし、事務事業の見直しが必要かその都度検討している。

◆市長

◆川瀬基盤整備部長

◆石腰教育委員会事務局長

答 ①地域ボランティアに協力を願うが、実情に応じ地元と相談のうえ検討する。②市民と一緒にまちづくりをすることで

当選したのでこのままのスタイルでやっていく。③飛騨市映像サポートクラブに委託し催事関係の撮影等を継続的に行っている。

問 合併特例期間の終了による普通交付税の減少に対する市政運営は

答 平成30年度より歳入不足。施設管理運営の適正効率化と行財政改革を図る



中嶋 国則 議員

問 平成24年度を例にとれば、普通交付税の実交付額は75億2千万円ですが、ひとつの市としての

問 「はだしのゲン」の撤去について

答 残虐な描写は戦争や原爆が背景にある。現在とは時代が異なる中で物語で、撤去の必要はない

問 漫画「はだしのゲン」

は、暴力シーンや残虐シーンが随所に見られ、子どもに影響を与える本である。①自虐的で過激な図書と思われる「はだしのゲン」を小中学校から撤去すべきではないか。

②国旗及び国歌に関する法律が制定され、学習指導要領も改訂された現在、国家斉唱を否定するマンガの内容についてどのよう

に考えるか。③学習指導要領にある、天皇陛下に敬愛と理解を深めることに反していることをどのように考えるか。④下村博文文部科学大臣は、記者会見で「松江市教育委員会の判断は違法ではない。学校図書館では、子どもの発達段階に応じた教育的配慮の必要性がある」と述べられたことにどう考えるか。

◆山本教育長

答 ①残虐な描写は戦争や原爆が背景にある。初版から四十年の経過もふ

◆市長

◆小倉総務部長

答 26年度以降財政の弾力性が失われ政策的な投資が困難となり、平成30年度以降歳入不足となる。

①施設管理運営の適正化・効率化を図る。②事務事業の見直し、業務体制の効率化を図る。③行財政改革を図る。

まえ撤去の必要はない。

②一部内容が反国旗掲揚・反国歌斉唱であって、あくまで時代背景に起因したもので、現在の学習指導要領の取り扱いに支障をきたすものではない。今後も趣旨に則った指導の充実に努める。③現学習指導要領に即した教科書で指導されている。漫画の内容にどんな意見があっても、指導には問題はないと考える。④学校図書館の教育的配慮は当然のこととして行っている。多くの本に親しみ、物事を正しく判断する児童生徒の育成が教育の使命である。

問 ①Uターン者への支援及び実績は。②飛騨地域での支援する制度の創設は

答 ①若者定住の対策を講じている。②飛騨地域による対策も検討する



田中 清安 議員

問 ①Uターン者を含め雇用促進対策について、3力年の実績を伺いた

い。②若者定住対策については、雇用の実態を踏まえると、大局的な観点に立って飛騨地域の3市1村で制度を創設した方が効果的と考えるかどうか。

問 指定管理者制度について

答 検討を進めることについて

問 指定管理施設については、今後の財政状況を考えた場合施設の統廃合は避けて通れないとの考えに立ち、昨年の第2回

議会では、施設の廃止、機能転換等も含め英断をもつて見直しを行うよう付帯決議を行ったがどうなったか。市に体力があ

問 政策提案の対応について

答 現在鋭意検討を進めている

問 現在市が工場適地として計画している土地は、進出を予定する企業を満足させるには程遠いものである。この状況を踏まえ、本年2月、議会

基本条例に基づき、工場立地が可能な良好な工場用地を確保するよう提言を行ったがどうなったか。

◆市長

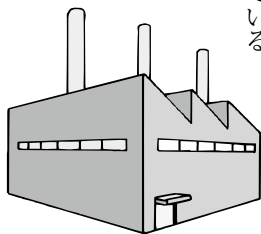
答 ①支援制度は、「就職奨励金」と「ウエルカムU・Iターン奨励金」

「市民雇用奨励金」がある。Uターン者25名に106・6万円を支給した。②高山市と共同で就職ガイダンスを実施しているが、雇用の実態を踏まえ、広域の政策も検討したい。

るうちに、思い切った対策を講じてはどうか。

◆市長

答 外部の経営コンサルタントの力を借りながら可能性を検討することとしている。



◆市長

答 候補地の現地調査を終え、選定作業に入っている。10年後の姿を見据え、選定を行うこととしている。

問 市民主体による地域振興について

答 地域で話し合いを重ねながら積み上げた「まちづくり協議会」が望ましい



福田 武彦 議員

問 河合町地域振興協議会の目的は「行政主体から地域住民が主体へのま

ちづくりへ、町民の意識改革」「具体的な地域振興の提案」「地域の再生を目指し実践する町民への支援」の3点である。これからの地域は行政に頼

るだけでなく自ら担って行かなければ未来はないとの思いである。

一方市長が会長となりまさに行政主導で設置された「飛騨市まちづくり協議会」の活動はどのように進展しているのか、動きが鈍いのでは、あるいは活動の成果が見えないなどの声もあるがその後の動きは、また来年度の予算への反映は。

◆市長

問 災害対策について

答 現実的な避難支援員の専任のため作業に着手したい

問 災害発生時に自力で避難できない要援護者のため、支援の強化が必要であるが、避難支援員の決定や要援護者対策班はどのように人選されるのか。

考えはあるか

◆谷津市民福祉部長

◆小倉総務部長

答 避難支援者の一部は、実際の災害時に対応できない。地域全体での互助・共助の意識を育み現実的な支援員の選任に結びつけたい。要援護者対策班は、福祉部救助班

等と、防災協定締結行う

答 まちづくり協議会は、特産開発、交流促進、人材育成、定住促進、景観形成の五つの部会で協議されている。

今年度のモニターツアーの結果をまとめ商品としてのツアーを提案し予算化する計画である。

河合町では「地域の危機感」から、議論を重ね地域振興協議会が設立された。宮川町は現在新たな組織の設立に向けて協議されている。古川神岡両町は人口規模が大きく組織の立ち上げは難しいが、区長、自治会長を交えながら検討したい。

等の職員が災害対策本部長の指示により対応する。

指定避難所は市有施設を中心に耐震補強の工事を進め有事に備えたい。

民間事業所との協定は現在JAひだ古川会館と管理センターなどを指定させてもらっているが、地元区などの要望を伺い企業へも指定をお願いして行く。



白石 実果さん

引き継いでいくこと

この土地、そしてここに住む人々に惹かれ、飛驒に移り住みました。そしてこの夏、あるひとつの古民家を引き継ぐことを夫と決めました。100歳以上の水屋や古民家の床を何度も水で拭いていくと、きれいな木目が顔を出します。

作られた当時のことを想像



田下 英男さん

ふるさと

少年時代は、近くの宮川で鮎やイワナを追ひ、夕方遅くまで友達と遊び、冬は裏山の狭い斜面で昼食も忘れスキーを楽しみました。

こんなに素晴らしい故郷はないという思いは高校を卒業して就職しても変わらず、昭和50

しながら古き物を引き継ぐことの喜びを噛みしめます。荏の油と米ぬかで磨いていくと輝きはどんどん増していきます。

「木は生きとるからな。何年経っていてもこちらが手入れをすればちゃんと応えてくれるんやぞ。」近所の方の言葉を噛みしめます。地元の方に支えられながら、大好きなこの土地で生きていきます。

古川町 白石 実果

市民の声

年に転勤希望が叶い、地元へ帰ることができました。

当時は人口が減少しつつも伝統ある地域の例祭や村民総がかりの夏祭り等が盛大に開催され、活気に満ちあふれていたと思います。

私は還暦を過ぎてもまだ会社勤めの身であり、地域振興に對して何の力もありませんが、昔のような活気が地元に戻ることを期待しています。

宮川町 田下 英男



柿の実

繋げていくということ

あるとき飛驒の自然の奥深さ・美しさに触れ、縁あって河合町に住み11年が経とうとしています。普段は自然栽培・不耕起栽培で雑穀類を作りながら、自然案内や天生の森の

パトロールをさせていただいています。

今年は柿の実が大豊作で「柿餅が安気に作れる」と楽しみにしています。柿の灰汁合わせを上手くするには経験と勘が必要です。今では柿の灰汁合わせができる人が少なくなってきましたが「森の恵みを食べる知恵」を自分は受け継いでいきたいです。そんな理由で、今年も柿の灰汁合わせに挑戦してみます。興味があある方一緒にやってみませんか？

河合町 吉眞 陽子



吉中 亜紀子さん

地域の温もり

私が神岡に嫁いでから8年が経ちます。当初は戸惑うことや不安だらけの日々でしたが、知らない方も親切に声をかけていただきとても温かい町だなあと感じました。自分

の育った町へ帰ると神岡の様な人と人とのコミュニケーションが少なくなったと思いました。

また地域ごとで行われるお祭りや行事、同級会などみんなが集まり交流する機会がたくさんあり、希薄化した今の時代にはあまりみられない独自の地域のつながりをこれからも子供達と一緒に大切にしていけたらと思います。

神岡町 吉中 亜紀子

編集後記

秋の朝、神原峠を下る。古川盆地は一面朝霧に覆われている。「今朝は霧ごんどるでええ天気になるな」そんな声が聞こえてくる。古川の朝霧は、夜温度が低下して重さを増し、山の斜面に沿って下がり、地底に集まり、風が日本海より運んだ塩について小さな塊となり空気中を漂うところを、朝太陽がそれを照らした様を言うそうである。霧のできる条件には風の強く吹く日が少ない、昼と夜の気温の差が大きい、盆地の底と囲む山々の高さの差が少ない、山々の日差しを遮るように切り立っていない等々。朝霧は暖かい日差しを約束し、田畑に恵みを与え大地や大気を潤している。飛驒市の現況は、少子、高齢化が進み、人口減少に歯止めがかからない。企業誘致できず、交流人口は伸びず、交付税の減額で財政の危機が浮かぶ。スモッグに包まれようとしている。全員一丸となり知恵を出し合い、条件を整え朝霧を見つけ出したものだ。

(洞口 和彦)